

2020年12月2日
東京大学教養学部学友会学生理事会

体温計の貸出について

学友会学生理事会では、2020年10月16日付の文書「学友会の窓口業務再開に関して」に提案する窓口業務案に沿う形で、加盟団体に対する非接触式体温計の貸出を開始いたします。

■ 機器

NISSEI HC-500「ふれずに体温ピ」（全6機）

■ 利用条件

比較的多数または不特定の構成員外の方に対して健康状態を把握する必要がある活動を予定していること

（例：発表会 交流活動 展示会など）

■ 申請期間

受け渡し日の7日前の日の23時59分まで

（利用団体がいない場合、期日以後でも対応の予定）

■ 利用上の注意

- 原則として、団体の構成員は自宅で体温測定を行ってください。
- 構成員外の方と活動を行う場合で、事前に参加者が決まっているときは、原則として、構成員外の方には自宅で体温測定を行ってもらってください。

- 測定値は、額部から放射される赤外線のパーク波長から算出した額の温度をもとに、舌下温度として推定した値です。そのため、測定値は脇下温度より高いものとして認識してください。また、体質によっては、測定値が接触式の電子体温計が算出する値と大きく異なる可能性があることを念頭に置いてください。

- 測定値が37.5℃以上の方は、必ず参加をお断りしてください。
- 測定値が平熱の範囲にあっても、風邪の症状が見られる方は、必ず参加をお断りしてください。
- 測定値は、入場等の場面で検温スクリーニングにのみ利用してください。特に個人情

報と紐づけられる形で記録しないでください。

- 測定するときは、髪をかき上げないでください。必ず額部の露出している箇所（眉間あたりまで）に向けて測定してください。やむを得ない場合は、髪をかき上げた状態で、額の表面温度が馴染むまで休んでから測定してください。
- 直前まで異なる温度の場所にいた方は、額の表面温度が馴染むまで休んでから測定してください。
- 額に風が当たる場所にいる方は、額に風のあたらない場所で測定してください。
- 額が濡れている方は、タオルやハンカチで水分をふき取り、額の表面温度が馴染むまで休んでから測定してください。

■ 申請方法

原則として、メールにて行います。

- 利用する場面の詳細
- 必要な機体数（込み合わなければ一回あたり 3 機を想定しています）
- 貸出の都合が付く日（基本的には窓口開室時間中を想定してください）

を明記のうえ、support@gakuyu-kai.orgまでご連絡ください。